

## 小児期各種疾患患児のC型肝炎ウイルス 抗体保有率

富樫武弘，柴田睦郎，成田光生，松本脩三

**要約：**小児期各種疾患患児 113 例の HCV 抗体保有率を E I A キットを用いて検索した。血友病患者 27 例中 21 例 (80.8%)、先天性心疾患術後肝炎患者 5 例中 2 例 (40%)、非 A 非 B 型肝炎患者 14 例中 2 例 (14.3%)、輸血既往のある悪性腫瘍・血液疾患患者 68 例中 4 例 (5.9%) が抗体陽性であった。輸血後の非 A 非 B 型肝炎に限ると 18 例中 8 例 (44.4%) が抗体陽性であった。

**見出し語：**HCV 抗体，輸血後非 A 非 B 型肝炎，血友病，先天性心疾患術後肝炎，悪性腫瘍・血液疾患

### 研究方法

北海道内小児科を受診した各種疾患患児のうち C 型肝炎抗体保有の可能性が高いと思われる血友病患者 (27 例)、先天性心疾患術後肝炎患児 (5 例)、非 A 非 B 型肝炎患児 (14 例)、輸血既往の

ある小児悪性腫瘍・血液疾患患者 (67 例) 合計 113 例につき保存血清を Ortho 社 HCV 抗体 ELISA test system で抗体の有無を判定し HCV 抗体保有率を検索した。

### 1 C型肝炎ウイルス抗体保有率(小児 112例)

|                    | 例数 | 陽性数 | 陽性率(%) |
|--------------------|----|-----|--------|
| 血友病                | 26 | 21  | 80.8   |
| 血液悪性腫瘍患者<br>(輸血あり) | 67 | 4   | 6.0    |
| 非 A 非 B 型肝炎        |    |     |        |
| 先天性心疾患術後           | 5  | 2   | 40.0   |
| 輸血後肝炎              | 3  | 2   | 66.7   |
| 非輸血肝炎              | 11 | 0   | 0      |

### 2 輸血後肝障害と HCV 抗体保有率

|        | 例数 | 陽性数 | 陽性率(%) |
|--------|----|-----|--------|
| 先天性心疾患 | 5  | 2   | 40.0   |
| 血液悪性腫瘍 | 11 | 4   | 36.4   |
| 輸血後肝炎  | 3  | 2   | 66.7   |
| 計      | 19 | 8   | 42.1   |

北海道大学医学部小児科学教室

Department of Pediatrics, Hokkaido University School of Medicine.

### 3 Correlation of hepatic dysfunction and HCV infection in Hemophiliacs

|       |   | 肝障害 |   | 計 |
|-------|---|-----|---|---|
|       |   | +   | - |   |
| HCV抗体 | + | 3   | 2 | 5 |
|       | - | 1   | 2 | 3 |
| 計     |   | 4   | 4 | 8 |

#### 結果

血友病患児21例(80.8%)、先天性心疾患術後肝炎患者2例(40%)、非A非B型肝炎患児2例(14.3%)、悪性腫瘍・血液疾患患者4例(5.5%)の血清HCV抗体が陽性と判定された。輸血後肝障害のある患者で非A非B型肝炎と診断されていた18例についてみるとそのHCV抗体陽性率は42.1%であった。

#### 考察

HCV抗体は米国カイロン社で得た非A非B型肝炎因子と推測される小型RNAウイルスのcDNAの発現産物に対する抗体である。その検出にはRIA, EIA が用いられているが、今回用いた方法はOrtho社HCV抗体ELISA test<sup>1</sup>である。現在正常小児のHCV抗体保有率は極めて低いことが示されている。輸血あるいは血清製剤投与が明らかな例ではその抗体陽転は1.2%程度というキャリア血あるいは血液製剤中のHCV感染によるものと考えられる。既にHCV抗体スクリーニングが開始され、血液製剤についてその安定性が検討されている。小児期におけるHCV感染の経過と家族内感染について今後検討を加える必要があると考える。

調査に用いた血清は北海道大学医学部附属病院(主治医:長谷直樹,石川順一,清水隆,小林良二)、市立旭川病院(佐竹良夫医長)、北見日赤病院(石川信義副院長)、帯広厚生病院(桑島滋医長)各小児科を受診した患者より得た。またC型肝炎抗体測定は北海道日赤血液センター(関口定美先生,池田久実先生)で行なわれた。御協力いただいた諸先生に感謝します。

#### 文献

1.丹後俊郎ら,非A非B型肝炎のHCV抗体測定系の感度と特異性の検討.日本臨床,48:33-38,1990.

## Abstract

Seroprevalence of HCV antibody in Children with various diseases

Togashi, T., Shibata, M., Narita, M., Matsumoto, S.

The 113 stocked serum were tested for HCV and antibody, with Ortho HCV antibody ELISA test system. The 21 samples out of 27 with hemophilin, 2 out of 5 with post cordiar operative hepatitis, 2 out of 14 with non-A, non-B hepatitis and 4 out of 68 with malignancies or hematological diseases after transfusion were considered to be HCV antibody positive. In cases of post transfusion non-A, non-B hepatitis the 8 samples out of 18 were decided to be HCV antibody positive, and the prevalence was calculated to be 44.4%.



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児期各種疾患患児 113 例の HCV 抗体保有率を EIA キットを用いて検索した。血友病患者 27 例中 21 例(80.8%)、先天性心疾患術後肝炎患者 5 例中 2 例(40%)、非 A 非 B 型肝炎患者 14 例中 2 例(14.3%)、輸血既往のある悪性腫瘍・血液疾患患者 68 例中 4 例(5.9%) が抗体陽性であった。輸血後の非 A 非 B 型肝炎に限ると 18 例中 8 例(44.4%)が抗体陽性であった。